

ロベルト・スッコ (2001)

ROBERTO SUCCO

メディア 映画

ジャンル ドラマ 犯罪 青春

製作国 フランス/スイス

色彩 Color

時間 124分

初公開日 2003/01/25

公開情報 セテラ=バップ

【キャッチコピー】

おれには、1パーセントの「人間らしさ」も残されていないのだろうか？

【解説】

80年代にヨーロッパを震撼させた実在の無差別連続殺人犯ロベルト・スッコの激しく短い生涯を、犯行の理由や動機に踏み込むことなく事実のみを忠実に再現して描いた問題作。原作はジャーナリスト、パスカル・フロマンが3年にわたる長期取材を経て出版したルポルタージュ。監督は「倦怠」のセドリック・カーン。

イタリア人のロベルト・スッコは19歳で両親を殺害し、刑務所に収監されていた。やがて刑務所を脱走した彼は、南フランスでレアという女性に出会う。ロベルトは自らをカートと名乗り、2人は間もなく付き合うようになった。だが彼らが親密度を深めていく一方、フランス国内では不可解で残酷な殺人、誘拐、窃盗が頻発。レアは次第に不審な行動をとるカートに疑念を抱き始める。ついに警察当局はこれら一連の事件を同一犯の犯行とみて捜査を強化。やがて一人のイタリア人容疑者が捜査線上に浮かんでくる…。

【クレジット】

監督	セドリック・カーン	Cedric Kahn	
製作	ジル・サンドーズ	Gilles Sandoz	
	パトリック・ソベルマン	Patrick Sobelman	
原作	パスカル・フロマン		
脚本	セドリック・カーン	Cedric Kahn	
脚本協力	ジェラルール・ブラッシュ	Gerard Brach	
	ロランス・フェレイラ・バルボザ	Laurence Ferreira Barbosa	
撮影	パスカル・マルティ	Pascal Marti	
出演	ステファノ・カセッティ	Stefano Cassetti	カート/ロベルト・スッコ
	イジルド・ル・ベスコ	Isild Le Besco	レア
	パトリック・デリゾラ	Patrick Dell'Isola	トマ